

観光 地域

実施内容

日 時
会 場
主 催
展示主体

シーニックバイウェイの取組みPR in幌加内新そば祭り

継続

No.5

H26

上川北部の9市町村が連携して、シーニックバイウェイ北海道の「天塩川流域ミュージアムパークウェイ」（候補ルート）として様々な活動を行っている。ルート活動の周知や当概エリア全体の地域活性化・観光振興を目指し、関係各機関のイベント会場等において、シーニックのPRブース等を設け、PR活動を行っている。幌加内そば祭りには、毎年2〜3日間の開催で、道内外から約5万人程の人が集ることからも、周知効果があるとして、シーニックの展示を行っている。シーニックドライブ情報冊子「Scenic Byway」などを配布した。2回目となる今年度は、会場案内の中心となる役場の入り口にて、推進協議会で作成された景観パネルとシーニックの概要説明等の展示物を中心に行なった。このパネル等が好評であったため、その1ヶ月間ほど、役場内に設置した。

平成26年8月30日（土）31日（日）9:00〜16:00

幌加内町役場周辺

幌加内町そば祭り実行委員会

天塩川流域ミュージアムパークウェイルート代表者会議



観光 地域

実施内容

日 時
会 場
主 催
展示主体

シーニックバイウェイの取組みPR in中川秋味まつり

継続

No.6

H26

「天塩川流域ミュージアムパークウェイ」（候補ルート）の地域活性化・観光振興を目的に、ルートの活動PRブースの設置と、各地域の特産品の販売を行なった。1日で5000人の集客のある中川町のイベント「中川秋味まつり」を会場に、9市町村の特産品を一品ずつPRする「一品グルメ市」と抱合せ、シーニックのドライブマップの販売、管内の道路情報パンフレットや関係各機関のパンフレット等を配布した。

平成26年9月28日（日）10:00〜16:00

中川町 天塩川河川敷（簗橋）

中川町秋味まつり実行委員会

天塩川流域ミュージアムパークウェイルート代表者会議



観光地域

実施内容

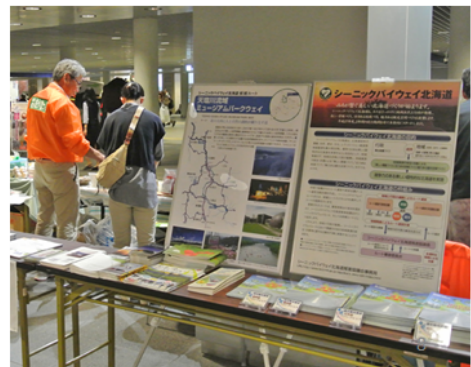
日 時
会 場
主 催
後 援
展示主体

シーニックバイウェイの取組みPR in札幌駅前通地下歩行空間

No.7
H26

「天塩川流域ミュージアムパークウェイ」（候補ルート）の地域活性化・観光振興を目的に、ルートの活動PRブースの設置と、各地域特産品の販売を行なった。札幌駅前通地下歩行空間を会場に、2日間行った。平日の開催であったため、観光客もとより、札幌市民等が多く、シーニック全体のPRとともに、ルートの魅力を知ってもらうため、パンフレットも関係機関の情報が掲載されているものと併せてルート活動における情報の周知を行った。

平成26年10月20日（月）・21日（火）11:00～17:00
札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）
道北観光連盟
北星信用金庫
天塩川流域ミュージアムパークウェイルート代表者会議



観光地域

実施内容

応募期間
主 催

フォトコンテスト2014

道北観光連盟が主催して実施していた取り組みを、昨年度より「天塩川流域ミュージアムパークウェイ」も連携して開催している。ここへ応募いただいた作品には、シーニックのPR媒体（パンフレットやパネル、HP等）などで、地域の魅力発信素材として活用する。美しい景観や地元にはわからないような場所の写真などもあり、大型パネルや冊子「Scenic Byway」、ドライブマップなどでも有効的に活用している。様々な媒体を通して地域の魅力ある部分を、少しでも多くの人に知ってもらえることに繋がるよう、今後も継続的な実施が必要と考えている。

平成26年12月8日（月）
～平成27年2月20日（金）※消印有効
道北観光連盟



継続 No.8
H26

道北観光連盟 シーニックバイウェイ北海道候補ルート 天塩川流域ミュージアムパークウェイ フォトコンテスト 2014



2013年 優秀賞
「春雲シルエット」



2013年 最優秀賞
「あいのり秋」



2013年 優秀賞
「凍てつく朝」

- 受付期間 2014年12月8日（月）～2月20日（金）※当日消印有効
- テーマ 道北観光連盟管内で撮影したものであればどんなものでも歓迎いたします。（市川・白馬・美瑛・名寄・下川・幌加内・上川・網走・知床の9市町村）
- 応募資格 老若男女どなたでもご応募いただけます。
- 応募要項
 - 1 応募作品は応募者本人が撮影した、未発表の作品に限ります。（複数応募可）
 - ※1：他のコンテストなどへの同時応募は出来ません。
 - ※2：日付等が入った作品は受付できませんのでご注意ください。
 - 2 応募作品は、2013年12月～2014年2月の間で撮影したものでご応募いたします。
 - ※3：作品は、カラー、または白黒でプリントしたもの、そのほか、デジタルデータ等でも可です。
 - ※4：作品はデジタル化したものを併せて提出してください。
 - 3 応募作品のプリントは横切り（254×366）、縦切り（254×366）のいずれかで提出して下さい。
 - ※5：応募作品には、撮影場所、撮影日時、タイトル、撮影者の氏名（フリガナ）、未成年者の場合は保護者氏名、住所、年齢、電話番号等を裏面の応募用紙にご記入の上、作品の裏面にお貼りください。
 - ※6：応募作品の著作権は主催者に帰属します。
 - ※7：3：応募作品、提出物の返却は致しません。
 - ※8：4：写真体のプライバシーや肖像権には充分ご注意ください。
- 表彰 最優秀賞1名、優秀賞2名、特別賞2名、入選4名、佳作多数
- 賞品 管内の特産品など豪華賞品が盛りだくさんです！！
- 応募先 道北観光連盟事務局、道北観光連盟管内の各市町村役場・観光協会、チラシ掲示のあるカメラ店にご提出ください。
- 主催 道北観光連盟
- 協賛・協力 富士フイルムイメージングシステムズ㈱ 網走商會（KING） 北海道観光技術センター
- お問い合わせ 道北観光連盟事務局
〒096-0001 名寄市東1条南7丁目1-10 駅前交流プラザよーな1F
TEL 01654-9-0111 FAX 01654-9-6712
URL http://www.dohokan.com/ E-Mail dohokan@dohokan.com

※裏面が応募用紙となっております。

観光 地域

実施内容

冬の道北9市町村11イベントPR 連携ポスター

No.9

H26

道北エリアの地域活性化・観光振興を目的に、全地域で個別に実施している取り組みを統一ポスターでPRし、周遊してもらうための取組み。恵まれた「雪質」を活かしたイベントや、外で体を動かし冬を楽しむイベント、また、幻想的な雪灯りを楽しむなど、様々な視点で「雪に親しむ」ことで地域の魅力を知ってもらえるものとなっている。また、道北観光連盟のホームページでも周知をし、各会場の紹介を行っている。

期 間
地 域

平成27年2月上旬～3月上旬
9市町村全域



10

観光 地域

実施内容

シーニックバイウェイの取組みPR in道庁赤レンガ

継続 No.11

H27

「天塩川流域ミュージアムパークウェイ」（候補ルート）の地域活性化・観光振興を目的に、ルートの活動PRブースの設置と、各地域の特産品の販売を行なった。道庁赤レンガ前を会場に3日間、シーニック全体のPRとともに、ルートの魅力を知ってもらうため、御当地キャラクターによるPRも行った。アジア圏観光客も多く、言語対応などの課題が残った。

日 時
会 場

平成27年10月16日（金）～18日（日）
道庁赤レンガ庁舎前庭特設会場



きた北海道エコ・モビリティ事業＜継続実施：1年目＞

道北エリアが持つ未開で荒々しくもミニマムに集約された自然は、まさにエコ・モビリティにぴったりのフィールドであることから、宗谷シーニックバイウェイと連携し、新しい旅のカタチである「きた北海道エコ・モビリティ」を進めることとなった。
自転車やカヌー、フットパスなど“人力”による移動と公共交通を組み合わせ、体験型の周遊観光を楽しむ「きた北海道エコ・モビリティ」は、移動自体を観光の目的とすることで、二次交通が弱い道北地域においても周遊性を向上させることが期待できる。

本年度

＜全体計画（案）＞

事業名	1年目（H27年度）	2年目（H28年度）	3年目（H29年度）
受入環境	・基礎調査 ・モデルルート の検討	・交通事業者や地域 受入施設等の受入 試行	・本格的な受入れ態 勢の構築
P R・ プロモーション	・イメージビデオ等 の素材収集	・旅行者等へのP R の実施	・商品化に向けた 旅行会社等への P Rの実施
旅行商品化		・モニターツアー の試行	・本格的な商品の 試行
その他	・先進地調査 ・検討会（2回） ・勉強会（1回）	・勉強会 ・検討会	・勉強会 ・検討会

＜実施体制・エリア＞

- 宗谷シーニックバイウェイ（25団体）
- 天塩川流域ミュージアムパークウェイ（25団体）

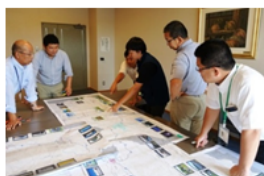
*当ルートが事務局となり、各事業実施における調整及び取りまとめ等を行っている。

12

きた北海道エコ・モビリティ事業～その①～

▲モデルコース試走

実施／10月8日（木）～10月10日（土）
コース／天塩川ルート内（幌加内→名寄→美深→音威子府→中川）
内容／事前にルートメンバーでコースを検討。当日は、コースチェックのほか、手ぶら配送サービスの試行実施、バス等への輸行、施設等の受け入れ環境、御当地メニュー・地域資源等の確認を行った。当日は雨天だったためカヌー体験はできなかった。



▲検討会



▲当日配送（ヤマト運輸が協力）



▲地域バスへの輸行



▲宿泊施設での保管



▲北海道新聞・道北地域版に掲載（10/10（土）朝刊）

▲先進地視察（しまなみ海道）

視察日／11月14日（土）～11月16日（月）
視察地／しまなみ海道《瀬戸内自動車道》
愛媛県今治市⇄広島県尾道市
内容／サイクリング環境や受け入れ体制等が国内トップクラスの先進地「しまなみ海道」へ視察調査を行い、自分達の地域で取り組む際の参考とするため、サイクリング環境の整備状況（ソフト・ハード）、サイクリストへのサービス、集客・宿泊施設等の受入体制、公共交通の自転車受入状況（サポート体制）等について、現地の方へのヒアリング及び視察（体験）を行った。
視察団／シーニックバイウェイ天塩ルート・宗谷ルート・十勝ルート、北海道モビリティ研究会、NPO法人日本風景街道コミュニティのメンバーによる：計13名



▲自転車道のライン（案内）



▲「サイクルオアシス」（自転車の貸出、工具・空気入れの貸出等）



▲部屋まで自転車を持ち込める宿泊施設「U2」（尾道）

13

▲「北海道モビリティ勉強会」の開催

道北観光の可能性を探る「北海道モビリティ」勉強会 ～自然・ヒト・地域に触れる新しい旅を目指して～

実施／12月4日（金）15：30～17：30

会場／中川町生涯学習センター「ちやいむ」

内容／地域と連携しながら、地域資源を活かしたアクティビティを組み合わせた先駆的な取り組みをされている（株）モンベル佐藤氏をお招きし、これからの道北観光の可能性を探る勉強会を開催した。あわせて、これまでの活動報告を行った。



▲（株）モンベル本社
広報部 佐藤和志氏



▲会場全体（約60名の参加）



▲地元木材を使用したサイクル
ラック案のお披露目



▲参加募集チラシ

▲プロモーション動画の作成

内容／旅の仕組み・内容、地域を魅力的に伝え、モビリティを普及・啓蒙するため、モニターツアーで集めた素材を使い、プロモーション用動画を制作した。

タイトル：道北版スイス・モビリティ・ツアー
チャンネル：北海道 中川町観光協会



▲Youtubeチャンネル【QRコード】



ルートメンバーによるワークショップの開催

当エリアのイメージを共有し、今後の「道北」の展望について共通認識を図ると共に、その展望に向けた戦略を決定することを目的に、ルートメンバーによる「道北ブランディング」ワークショップを4回開催した。
今回のワークショップからは具体的な次年度の計画にまではいたらなかったが、エリアのイメージが確立され、今後の活動の考え方の「軸」として、メンバー間で共有できたことがよかった。

- ①平成27年9月17日 <24名>
 - ②平成27年10月26日 <19名>
 - ③平成27年11月30日 <20名>
 - ④平成27年12月14日 <21名>
- 交流プラザ「よろーな」（名寄市）

